

住友製薬株式会社 大阪市中央区道修町二丁目2番8号

(URL <http://www.sumitomopharm.com/>)

代表者 代表取締役社長 岡本 康男
 問合せ先責任者 経理部長 野村 博 TEL.(06)6229-5746
 中間決算取締役会開催日 平成16年11月10日 中間配当制度の有無 有
 中間配当支払開始日 平成16年12月10日

1. 平成16年9月中間期の業績(平成16年4月1日～平成16年9月30日)

(注)記載金額は、百万円未満の端数を切捨てて表示しております。

(1)経営成績

(単位;百万円)

	売上高 (対前年中間期増減率)	営業利益 (対前年中間期増減率)	経常利益 (対前年中間期増減率)
平成16年9月中間期	68,234 (4.4%)	13,816 (30.7%)	13,437 (31.7%)
平成15年9月中間期	65,337 (0.0%)	10,573 (14.8%)	10,201 (6.4%)
平成16年3月期	136,915	21,239	20,387

	中間(当期)純利益 (対前年中間期増減率)	1株当たり中間(当期)純利益
平成16年9月中間期	8,253 (52.1%)	45,751円
平成15年9月中間期	5,426 (3.4%)	30,079円
平成16年3月期	12,048	66,555円

(注1)期中平均株式数 平成16年9月中間期 180,400株 平成15年9月中間期 180,400株 平成16年3月期 180,400株

(注2)会計処理の方法の変更 無

(2)配当状況

	1株当たり中間配当金	1株当たり年間配当金
平成16年9月中間期	13,000円	-
平成15年9月中間期	12,000円	-
平成16年3月期	-	26,000円

(3)財政状態

(単位;百万円)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
平成16年9月中間期	170,489	123,345	72.3%	683,736円
平成15年9月中間期	171,020	112,577	65.8%	624,043円
平成16年3月期	171,392	117,697	68.7%	652,189円

(注)期末発行済株式数 平成16年9月中間期 180,400株 平成15年9月中間期 180,400株 平成16年3月期 180,400株

(4)キャッシュ・フローの状況

(単位;百万円)

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
平成16年9月中間期	10,905	1,237	2,570	34,996
平成15年9月中間期	10,237	6,439	1,655	27,299
平成16年3月期	17,777	10,854	4,181	27,898

2. 平成17年3月期の業績予想(平成16年4月1日～平成17年3月31日) (単位;百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成17年3月期	138,000	22,000	20,000	12,000

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 66,519円

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

経営成績及び財政状態

I. 経営成績

1. 当中間期の概況

当中間期の国内医薬品業界は、本年4月に業界平均4.2%の薬価基準の引き下げが実施されるなど、医療費抑制の基調は変わらず、国内医薬品市場は当面拡大が見込めない状況のなか、引き続き厳しい環境下で推移いたしました。

このような状況のもと、当社は、中期経営計画(2003年～2007年)の2年目をむかえ、将来の事業発展の基盤をより強固にするため、選択と集中の諸方策を一層進めるとともに、コストパフォーマンス改善等の業務効率の向上に取り組みました。営業面では、重点品のポテンシャルを最大限に引き出し売上高の拡大を図るため、戦略的マーケティングに基づいて個々の製品戦略を明確にしたうえで、効果的・効率的な営業活動を推進しました。研究開発面では、研究領域の重点化を進めるなかで成功確度の向上と研究スピードアップに取り組むとともに、国内外の臨床開発を積極的に推進いたしました。生産面では、競争力向上のため製造原価の低減を引き続き推進するとともに、業務効率化に取り組みました。これらの結果、当中間期の売上高は682億34百万円(前年同期比4.4%増)、営業利益は138億16百万円(同30.7%増)、経常利益は134億37百万円(同31.7%増)、中間純利益は82億53百万円(同52.1%増)となりました。

販売面につきましては、薬価改定による減収要因がありましたが、売上高は前年同期比28億97百万円の増収となりました。最主力の「アムロジン」(高血圧症・狭心症治療薬/持続性カルシウム拮抗薬)が引き続き伸長したことに加え、「メロペン」(カルバペネム系抗生物質製剤)が国内販売およびバルク輸出の双方で増加したことが、主たる増収要因です。

利益面につきましては、主力品の増収による利益増加に加え、昨年から取り組んでいるコストパフォーマンス改善の成果が徐々に具体化され費用削減が図れたこと、また研究開発費等の発生が一部下期以降へずれたこともあり、前年同期比で大幅な増益となりました。

2. 通期の業績見通し

平成17年3月期の売上高は、期首計画どおりの1,380億円を見込んでおります。利益面では、コストパフォーマンスの改善の成果等により、期首計画を上回る、経常利益200億円、当期純利益120億円を見込んでおります。

II. 財政状態

1. 当中間期の概況

当中間期末の総資産は1,704億89百万円となり、前年度末にくらべて9億2百万円減少いたしました。主な減少の理由は季節要因に基づく売上債権の減少によるものです。総負債は471億43百万円となり、前期末にくらべ65億51百万円減少いたしました。主な減少の理由は売上債権と同様に季節要因による仕入債務の減少によるものです。株主資本は1,233億45百万円となり、株主資本比率は72.3%(前年度末68.7%)となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは109億5百万円のプラスとなりました。投資活動によるキャッシュ・フローは当中間期には大きな固定資産の取得等がなかったため12億37百万円のマイナスにとどまりました。財務活動によるキャッシュ・フローは期末配当金支払いと長期借入金の返済により25億70百万円のマイナスとなりました。以上の結果、現金及び現金同等物の中間期末残高は前期末と比較して70億97百万円増加し、349億96百万円となりました。

III. 対処すべき課題

厳しい国内事業環境のもと、諸般にわたるグローバルな競争がさらに加速するなかで、当期は中期経営計画の目標達成に向け、以下の課題に重点的に取り組んでおります。

研究開発のアクティビティを強化し、パイプラインの充実に努めております。

医薬情報担当者の増強とIT技術を活用した支援体制を構築し、販売力の強化に取り組んでおります。

厳格化し国際化するGMPや薬事法改正に対応しつつ、コスト競争力のある生産体制の構築に取り組んでおります。

経営資源の効率的かつ有効な活用に努め、コストパフォーマンスの向上の実を上げております。

企業の社会的責任が重視されるなか、品質・環境・安全に万全を期するとともに、全社員がコンプライアンスの徹底に取り組んでおります。

薬効別売上高

(単位:百万円)

薬効分類		当中間期 (自平成16年4月1日 至平成16年9月30日)		前中間期 (自平成15年4月1日 至平成15年9月30日)		増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	率
神経系用薬		8,788	12.9	8,772	13.4	16	0.2
インテバン	鎮痛消炎剤	2,594	3.8	2,641	4.0	46	1.8
ドブス	神経機能改善剤	2,403	3.5	2,400	3.7	2	0.1
セディール	抗不安薬	1,608	2.4	1,625	2.5	17	1.1
ルーラン	抗精神病剤	1,302	1.9	1,078	1.7	224	20.8
その他		879	1.3	1,025	1.6	146	14.3
循環・呼吸・消化器系用薬		28,315	41.5	26,806	41.0	1,509	5.6
アムロジン	高血圧症・狭心症治療薬	22,596	33.1	20,747	31.8	1,848	8.9
タガメット	H2受容体拮抗剤	2,387	3.5	2,636	4.0	248	9.4
アルマール	高血圧・狭心症・不整脈治療剤 本態性振戦治療剤	1,945	2.9	2,096	3.2	150	7.2
その他		1,385	2.0	1,326	2.0	59	4.5
ホルモン剤		3,805	5.6	3,888	6.0	83	2.1
グロウジェクト	遺伝子組換え天然型 ヒト成長ホルモン製剤	2,554	3.7	2,670	4.1	116	4.3
プロスタール	前立腺肥大症・癌治療剤	563	0.8	569	0.9	5	1.0
その他		686	1.0	648	1.0	38	5.9
生物学的製剤及び腫瘍用薬		3,449	5.1	3,855	5.9	405	10.5
スミフェロン	天然型インターフェロン - 製剤	3,236	4.7	3,680	5.6	443	12.1
カルセド	抗悪性腫瘍性抗生物質	209	0.3	170	0.3	38	22.5
その他		3	0.0	3	0.0	0	5.9
抗生物質		9,979	14.6	7,728	11.8	2,250	29.1
メロペン	カルバペネム系抗生物質製剤	9,971	6.7	7,718	11.8	2,253	29.2
その他		7	0.0	10	0.0	2	28.1
医薬品その他		8,393	12.3	8,118	12.4	274	3.4
ジルテック	アレルギー性疾患治療剤	3,786	5.5	3,473	5.3	313	9.0
ヒピテン	殺菌消毒剤	1,518	2.2	1,701	2.6	182	10.7
ダイドロネル	骨代謝改善剤	1,088	1.6	1,232	1.9	143	11.7
メルピン	血糖降下剤	850	1.2	642	1.0	208	32.4
その他		1,149	1.7	1,070	1.6	78	7.4
医薬品計		62,731	91.9	59,169	90.6	3,562	6.0
その他 (診断薬、医療材料 医薬バルク、中間体 他)		4,417	6.5	5,176	7.9	759	14.7
工業所有権等収益		1,085	1.6	991	1.5	93	9.5
合計 (うち輸出)		68,234 (4,668)	100.0 (6.8)	65,337 (2,947)	100.0 (4.5)	2,897 (1,720)	4.4 (58.4)

中 間 損 益 計 算 書

科 目	当中間期 〔自平成16年4月1日〕 〔至平成16年9月30日〕		前中間期 〔自平成15年4月1日〕 〔至平成15年9月30日〕		増 減
	百万円	%	百万円	%	
(経 常 損 益 の 部)					百万円
営 業 損 益					
売 上 高	68,234	100.0	65,337	100.0	2,897
売 上 原 価	19,759	29.0	20,014	30.6	254
返品調整引当金戻入額	63		-		63
返品調整引当金繰入額	-		49		49
販売費及び一般管理費	34,723	50.9	34,700	53.1	22
営 業 利 益	13,816	20.2	10,573	16.2	3,243
営 業 外 損 益					
営 業 外 収 益	244	0.4	263	0.4	19
受取利息及び配当金	(178)		(76)		(101)
雑 収 益	(65)		(187)		(121)
営 業 外 費 用	622	0.9	635	1.0	13
支 払 利 息	(45)		(49)		(4)
雑 損 失	(577)		(586)		(9)
経 常 利 益	13,437	19.7	10,201	15.6	3,236
税引前中間純利益	13,437	19.7	10,201	15.6	3,236
法人税、住民税及び事業税	4,100	6.0	6,134	9.4	2,034
法人税等調整額	1,084	1.6	1,359	2.1	2,443
中 間 純 利 益	8,253	12.1	5,426	8.3	2,827
前期繰越利益	4,980		4,664		316
中 間 未 処 分 利 益	13,233		10,090		3,143

中間貸借対照表

科 目	当中間期 (平成16年) 9月30日	前 期 (平成16年) 3月31日	前中間期 (平成15年) 9月30日	科 目	当中間期 (平成16年) 9月30日	前 期 (平成16年) 3月31日	前中間期 (平成15年) 9月30日
	百万円	百万円	百万円		百万円	百万円	百万円
(資 産 の 部)	(170,489)	(171,392)	(171,020)	(負 債 の 部)	(47,143)	(53,695)	(58,443)
(流 動 資 産)	(117,029)	(117,363)	(113,901)	(流 動 負 債)	(32,629)	(38,689)	(42,793)
現金・預金	1,496	1,898	3,299	支払手形・買掛金	10,969	15,668	10,774
受取手形・売掛金	45,282	50,171	49,688	短期借入金	2,440	2,460	2,792
棚卸資産	27,844	27,582	26,461	その他流動負債	19,220	20,560	29,227
預け金	33,500	26,000	24,000	(固 定 負 債)	(14,514)	(15,005)	(15,650)
繰延税金資産	5,114	6,626	6,294	長期借入金	271	296	310
その他流動資産	3,872	5,164	4,235	退職給付引当金	9,992	10,434	10,607
貸倒引当金	81	80	77	その他固定負債	4,249	4,274	4,731
(固 定 資 産)	(53,459)	(54,028)	(57,119)	(資 本 の 部)	(123,345)	(117,697)	(112,577)
有形固定資産	32,795	33,327	33,076	(資 本 金)	(9,020)	(9,020)	(9,020)
無形固定資産	2,859	3,191	4,654	(利 益 剰 余 金)	(112,488)	(106,803)	(102,345)
繰延税金資産	7,745	7,292	9,198	利益準備金	2,255	2,255	2,255
投資その他の資産	10,059	10,215	10,190	任意積立金	97,000	90,000	90,000
				別途積立金	97,000	90,000	90,000
				中間(当期)未処分利益	13,233	14,548	10,090
				(株 式 等 評 価 差 額 金)	(1,837)	(1,873)	(1,211)
合 計	170,489	171,392	171,020	合 計	170,489	171,392	171,020

	百万円	百万円	百万円
有形固定資産の 減価償却累計額	53,542	52,079	50,179
(うち当中間期(当期) 減価償却額)	(2,073)	(4,463)	(2,207)

中間キャッシュ・フロー計算書

科 目	当 中 間 期 (自 平成16年4月 1日) (至 平成16年9月30日)	前 中 間 期 (自 平成15年4月 1日) (至 平成15年9月30日)	増 減
	百万円	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前中間純利益	13,437	10,201	3,236
減価償却費及びその他償却費	2,455	4,158	1,703
受取利息及び受取配当金	178	76	101
支払利息	45	49	4
投資有価証券売却・評価損益	0	29	29
固定資産除却損	51	56	4
売上債権の減少額	4,889	7,045	2,156
たな卸資産の増減額	261	1,136	1,398
仕入債務の減少額	4,699	10,447	5,748
その他	2,472	3,587	6,060
小計	13,267	15,742	2,474
利息及び配当金の受取額	179	78	101
利息の支払額	13	18	4
法人税等の支払額	2,528	5,564	3,035
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,905	10,237	667
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形・無形固定資産の取得による支出	1,547	6,410	4,862
有形・無形固定資産の売却による収入	26	1	25
投資有価証券の取得による支出	0	30	30
貸付金による支出	264	-	264
貸付金の回収による収入	564	-	564
その他	15	-	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,237	6,439	5,202
財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期借入金の返済による支出	44	32	12
配当金の支払額	2,525	1,623	902
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,570	1,655	914
現金及び現金同等物の増加額	7,097	2,142	4,955
現金及び現金同等物の期首残高	27,898	25,157	2,741
現金及び現金同等物の中間期末残高	34,996	27,299	7,697